

記録へジャンプ!

大会記録を大幅に更新

1チーム12人で行う長縄とびで回数を競う「第5回つくばみらい市なわとび大会」が2月19日、市総合運動公園体育館で行われました。

当日は、市内外より56チーム、750人を超える小中学生および一般の参加者が集まりました。会場は、これまでの大会記録421回を大幅に更新するチームが連続し、熱気に包まれました。

806回を跳んだ『チームがとどのいました!』(三島小・6年)が一時、トップに立ちました。惜しくも準優勝。続いて『ミラクルジャンピング』(同・5年)が610回を跳び、第3位入賞と好成績を収めました。

▷熱気にあふれる会場の様子



優勝は、821回を跳んだチーム『友情』(守谷小・5年)となりました。

2位、3位と好成績を取めた三島小学校の渡辺清美先生は「5、6年生が一緒に練習に取り組んだ結果、5年生の姿から6年生は刺激を受けたと思うし、6年生は、最高学年としての頑張りを5年生に見せることができたとと思う。お互いに刺激し合って生まれた結果です」と話してくれました。

また、文随千尋さんは「すご

目指せ、横綱!

第1回ちびっこ相撲みらい場所

地元立浪部屋の協力を得て、「第1回ちびっこ相撲みらい場所」が2月12日、市総合運動公園体育館で行われました。

当日は、園児から小学生までの57人が参加。ふんどし姿となった子どもたちは、寒さも吹き飛ばさんばかりの白熱した取り組みを繰り広げました。

取り組みのほか、子どもたちは、日頃触れ合う機会のない力士との交流も楽しんでいました。

く不安な気持ちもあつたけれど、みんなの表情を見ていると、すごく緊張がほぐれて跳びやすかった。今日、800回以上跳ぶことができてとてもうれしい」と話してくれました。



おそろいのTシャツで挑むチーム『ニコちゃんズ』(谷井田小・3、4年)

谷和原中男子バレー部準優勝

県新人バレーボール大会

県中学校新人バレーボール大会が2月11日、12日の2日間にわたり、友部中学校、水戸市民体育館で開催されました。

大会には、48チームが参加。白熱した試合が繰り広げられるなか、谷和原中男子バレー部が、見事準優勝の快挙を成し遂げました。

バレー部キャプテンの藤田裕将さん(2年)は「県制覇の夢は夏の総体で絶対叶える」と力強く話してくれました。



谷和原中男子バレーボール部の皆さん

日々の努力の成果を披露

手をつなぐ子らの作品展

市内の小中学校の特別支援学級と伊奈養護学校に通う児童生徒の作品約80点を一堂に展示した「手をつなぐ子らの作品展」が、谷和原保健福祉センターで開催されました。

作品は、図工や作業学習などの授業で作成した、書道や絵、本立て、ビーズストラップ、木版画カレンダーなど、どれも個性が生きた作品が展示されました。

市教育研究会特別支援教育部が「日ごろの頑張りや成長ぶりを家族や市民に広く伝えたい」

と毎年開催し、今年で23回目を迎えました。

